8 月1日（土曜日）「正確な事実」

【新改訳 2017】

ルカ　1•1－4

「私たちの間ですでに確信されている出来事については‥‥‥私も、すべてのことを初めから綿密に調べておりますから、あなたのために、順序を立てて書いて差し上げるのがよいと思います。尊敬するテオピロ殿」（1－3 節）

　きょうからは、新約聖書に見られる祝福を共に祈りつつ探求したいと思います。

　ルカの福音書は、著者ルカが、そのころすでに人々の間に伝えられていたことを、自ら綿密に調べて順序立てて書き、テオピロという高位の人に献上した書でした。彼は医者であり、論理的に物事をまとめながら、救い主イエス・キリストについて教えられていた事柄が正解な事実であることを証言しています。

　イエス・キリストの物語は、初めからの目撃者で、主のみことばに仕える者となった人々が伝えたことでした。正確な事実でした。キリスト教は、事実→信仰→結果（感情だけではなく）という順序の体験を繰り返しつつ、祝福に生かされる生活で

す。確信をもって感謝しましょう。

～祈り～

主よ。私たちに伝えられているイエスさまの生涯が、正確な史実であることを感謝します。

私たちの信仰が事実に根ざしたものであることを確信して歩めますように。

【学びのために】

ルカの福音書について:新約聖書最初の 4 福音書の 1 つ。筆者はルカで、医者であり、使徒パウロの同労者でした。ユダヤ人ではなく、いわゆる異邦人。本書は、たぶんローマの高官だったテオピロに宛てられたもの。ルカは主イエスの直接の生涯の目撃者ではありませんでしたが、調べて書かれた信頼できる書です。